



2021年12月27日

各 位

会 社 名 西本Wismettacホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長CEO 洲 崎 良 朗  
(コード番号：9260 東証市場第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 佐 々 祐 史  
( TEL. 03-6870-2015)

## 新市場区分「プライム市場」の選択申請及び上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日、プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関して2025年12月までを目途に上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	38,488単位	107.6億円	26.8%	0.28億円
上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画書に記載の項目			○	

※ 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題、取組内容及び計画期間

### (1) 取組の基本方針

当社は創業以来、各種食品の輸出入貿易、海外での食品卸事業等を営みグローバル食品企業としての事業基盤を構築してまいりました。現在、食品業界を取り巻く事業環境は、食品安全性や健康志向への意識の高まりと各種規制の強化、様々なフードテックの勃興やデジタル化など大きく変化しております。この様な環境下、当社はこれまでに培った事業基盤を最大限に活用し、既存事業の規模拡大と収益性向上に向けた改革、食品業界ならびに、食の領域と他の領域が融合する新たな事業分野における新規事業の創出、食品安全性及び食品コンプライアンス対応の徹底、海外地域マネジメント及びガバナンスの強化等を推進し、唯一無二のグローバル食品企業を目指すことを基本方針としております。

この方針を実行していく上では、従来以上に国内外の様々な取引先や顧客、投資家等を含めたステークホルダーに適切に評価される企業であることが重要となります。そのためには多くのグローバルな機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、すべてのステークホルダーとの建設的な対話に努めることで、中長期的な企業価値の向上と社会的使命の達成へのコミットメントが求められるプライム市場への上場を維持することは、当社にとって非常に重要であると認識しております。

### (2) 課題、取組内容及び計画期間

当社にとって、プライム市場の基準項目の一つである「流通株式比率35%以上」の達成が、プライム市場の上場維持の課題となります。この課題達成のために、法人大株主（多津巳産業株式会社）ならびに個人大株主（洲崎良朗）に対する当社株式の一部売却の申し入れ、また公募増資等の取組を検討する等、流通株式比率向上を目指してまいります。

また、上記取組による流通株式比率向上を円滑に進めるためには、企業価値向上に向けた具体的な施策も必要となりますが、これにつきましては、2022年初頭の開示を予定している中期経営計画（2022年度～24年度）ならびに各施策の検討状況等を踏まえて、順次開示する予定としております。

尚、上記取組を実施するためには、事業環境や株式市場の動向等も鑑み段階的かつ相応の時間が必要と想定していることから、計画期間は4年間（2025年12月まで）を見込んでおります。

以 上